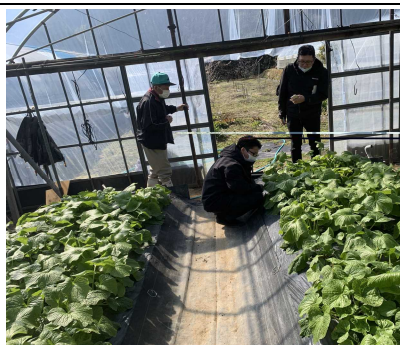


普及活動情勢報告（令和6年3月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

今年のワサビの生育はどうですか？ ～加工用ワサビの合同巡回～



生育状況を視察する市場関係者

2月7日、株式会社金印、JA高知県販売担当及び当課が、梶原町、津野町の加工用ワサビ生産者3戸のほ場を合同で巡回しました。

当課は、ハウス内に設置しているスマート家電の温度推移を参考に、温度管理について指導を行いました。

いずれのほ場も定植から約3か月が経ち、茎葉とも順調に成長しており、出荷先の株式会社金印からは、「順調に生育している。今年は去年以上の収量が期待できる」と良い評価がありました。

当課は今後も、収穫開始の4月下旬頃まで巡回指導を継続し、病害虫対策、適正な温度管理等の収量向上に向けた栽培技術を指導していきます。

春先の管理に気をつけましょう ～JA土佐くろしおインゲン部会現地検討会～



資料説明を聞く生産者ら

2月20日、須崎市及び中土佐町の生産者ほ場で、JA土佐くろしおインゲン部会が現地検討会を開催し、生産者や営農指導員の計15人が参加しました。

当課は、今後の気象や栽培管理、春先に発生しやすい病害虫の防除方法について説明しました。

生産者からは、「天窓の操作はどのようにしているのか」といった生産管理についての質問や、出荷規格についての意見が出るなど、活発な意見交換が行われました。

今後も巡回等をとおして、インゲンの栽培技術に関する指導及び情報提供を行っていきます。

産地振興に向けて ～JA土佐くろしお管内農業振興連絡協議会～



活動実績報告や産地振興計画案について協議する参加者ら

2月21日にJA土佐くろしおで、JA、須崎市、中土佐町、津野町、当センターの37人が参加して、JA土佐くろしお管内農業振興連絡協議会を開催しました。

会では、各課題プロジェクトチームの活動実績報告、JAからミョウガ生産拡大クラスターや再生可能エネルギーの取組紹介、当課からSAWACHIの活用について情報提供しました。

また、関係機関と産地の課題や将来像を共有し、戦略的に取組むための指針として3年ごとに更新している「土佐くろしお産地振興計画書・第6刊」について協議しました。

会長から「産地振興計画書作成に振興センターに関わってもらいありがたい」「管内の課題や活動方針を協議する場として重要な会議である」とあり、関係者との連携の大切さを確認し合いました。

当課は、関係機関と協力し、産地振興に向け活動していきます。

現地の声を普及活動に ～第2回農業改良普及推進協議会～



活動実績の内容を聞く参加者

2月27日、須崎総合庁舎で農業改良普及推進協議会を開催し、農家代表や関係機関17人の参加がありました。

当課から、今年度の重点課題の活動実績と次年度の重点課題、一般課題、その他の活動について説明し、意見交換を行いました。

委員からは、「規模拡大したいが、事業要件が多く活用しにくい」「親元就農では、親子が話し合いを行える機会をもつことが必要」「後継者・労働力（雇用者など）の確保が難しい」等、活発な意見がありました。

当課は、委員から出た意見を今後の普及活動に反映し、関係機関と連携して地域や農業の課題解決に取り組めます。

データ駆動型農業で収量向上 ～ミョウガ現地検討会～



現地検討会の様子

2月28日～3月7日にかけて、JA土佐くろしおみょうが部会が須崎市多ノ郷などのほ場で現地検討会を開催し、生産者190人が参加しました。

ほ場では、JAから春先の温湿度管理や天敵防除について説明し、当課からは「SAWACHI」を活用した環境データの年度比較、スマート家電やIoTカメラを利用した栽培管理について説明しました。

参加者からは、曇天日の温度管理やスマート家電を活用したハウス内の温度ムラの改善等について質問があり、積極的な意見交換が行われました。

当課は、今後も関係機関と連携し、データ駆動型農業の実践支援に取り組んでいきます。

ユズの安定出荷に向けて ～津野山ユズ部会せん定講習会～



実演講習を行う当センター職員

2月29日、梶原町下西の川地区及び東川地区、津野町宮谷地区及び力石地区の計4ほ場で、津野山ユズ部会がせん定講習会を開催し、生産者延べ53人、JA職員2人、当センター職員2人が参加しました。

当課は、せん定の目的やポイント等を説明後、実演講習を行いました。生産者からは、「こういった場合にはどれを切ったらよいか」など、活発な質問が挙げられました。

当課は今後も、津野山地域ユズの安定生産に向けて、講習会などを通じた指導を行っていきます。

津野山地域の農業振興を考える ～津野山地域営農連絡協議会全体会（第2回）～



津野山の農業を考える関係者

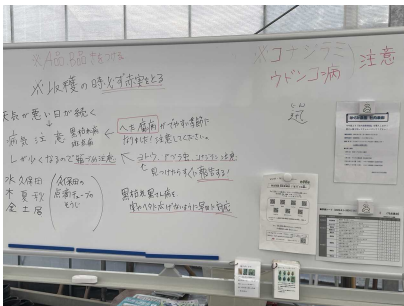
3月11日、JA 高知県津野山経済課において、JA、梶原町、津野町、当課及び県高幡地域本部から18人が参加し、津野山地域営農連絡協議会の全体会を開催しました。当課は、事務局補佐として会の開催を調整・準備しました。

会では、5つのプロジェクトチーム（PT）ごとに本年度の活動実績の報告と次年度の活動計画案の確認ができました。また、参加者からそれぞれに情報提供がありました。

当課は、JAと毎月集合してPT活動の進捗状況などの情報を共有して課題の発見と早期解決につなげています。

今後も、関係機関が一体となって津野山地域の農業の振興に努めていきます。

労務管理について学ぼう ～安芸市農業法人視察研修～



作業の注意点等が確認できるホワイトボード

3月11日、経営改善に取り組むシントウ農家1人の課題解決のために、雇用に伴う就業規則等をどのように運用しているか学ぶことを目的とする安芸市の農業法人の視察を調整し、県農業経営・就農支援センターと3人で実施しました。

当該法人は特定技能実習生を雇用しており、働きやすい職場づくりのために様々な取り組みを実践し、雇用条件別の労働条件通知書の内容、様々なケースに合わせたルールの運用方法、さらには作業の注意点等の掲示、職員表彰制度などについて説明を受けました。

農家からは「働きやすい職場環境となるよう、学んだことを取り入れたい」との声が聞かれました。

当課は今後、就業規則の策定等の経営改善の取組を支援していきます。